



The library news



夢の図書館

7月号 (第198号) 2018年 7月18日発行

夢野台高校図書委員会編集B

7月に入り、日に日に暑さが厳しくなってきました。

みなさん、もうすぐ夏休み体調に気をつけて勉強や部活動に励みましょう。疲れた時には、息抜きで本を読んでみては。是非、夏休み前に夢の図書館へ。

(S.H)

図書委員のおすすめ本

「神酒クリニックで乾杯を」

知念 実希人 著

主人公、九十九勝己がおかした手術ミス。

しかし、その裏には更なる犯罪が隠されていた・・・。

数年後、知人の勧めで『神酒クリニック』で働くことになる。それがきっかけで起こる新たな犯罪。結末のどんでん返しに驚かされる。

(2年 S.H)



「こころ」

夏目 漱石 著 (NDC 913.ナ)

親友を裏切って恋人を得たが、その後親友が自殺をしたために罪悪感に苦しみ、自らも死を選ぶ。切なく孤独な明治の知識人の内面を描いた作品。

2年生は二学期からの現代文で学ぶのではないのでしょうか。

教科書にも載る不朽の名作。時間がある夏休みに読んでみてはいかがでしょうか。

(3年 O.M)





「わたしを離さないで」

カズオ・イシグロ 著

この話は、とある施設「ハールシャム」で育った3人、キャシー・トミー・ルースを中心に展開されていきます。

この施設で育った者が、背負うことになっている【提供】という使命とは??

内容は非常に暗いですが、すごく考えさせられます。

(ちなみに、著者のイシグロさんは日系イギリス人でノーベル賞をとっています)

(2年 Y.N)



「夢幻花」

東野 圭吾 著 (NDC913.ヒ)

黄色いアサガオだけは追いかけるな。

ひとり暮らしをしていた老人、秋山周治が何者かに殺された。遺体の第一発見者は孫娘の梨乃。梨乃が気になったのは、祖父の家の庭から消えた黄色花で……。ここから物語がうごきだしていくのである。この先が気になる人は、図書館へ。

(1年 うさぎ)



「陰陽屋へようこそ」

天野 頌子 著

東京ののどかな住宅街にある、王子稲荷。そのふもとの商店街に開店したあやしい占い店「陰陽屋」。

店主はホストあがりの“イケメン陰陽師”。アルバイトの瞬太はキツネの耳をもつ拾われ妖狐。

妙なとりあわせのコンビが、お悩み解決に東奔西走。店をとりまく人情とほのぼののミステリーに癒されます。

(1年 H.K)